



**一般社団法人
日本アルミニウム合金協会の活動状況**

平成27年5月

一般社団法人日本アルミニウム合金協会

コンテンツ

1. 環境対策に力を入れています
2. 技術開発に力を入れています
3. 3級溶解技能者検定事業を運営しています
4. 事故トラブルなどの情報共有に力を入れています
5. 中小企業対策に取り組んでいます
6. 関係機関との連携に力を入れています
7. 政府に対して政策提言をしています
8. 各種統計調査に力を入れています
9. 会員交流の場を提供しています

1. 環境対策に力を入れています

<ポイント>

- アルミリサイクルの一翼を担う当業界にとって、環境への配慮は会員共通の永遠の課題です。
- このため、環境対策を検討する常設委員会としてリサイクル部会を設置して、各種課題の解決に向けた取り組みを強化しています。
- 近年ではダイオキシンに関する規制強化の動きへの対応が重要課題となっており、内外の技術動向の把握に努めるとともに、協会アドバイザーとして、環境省の検討会委員を務める産総研研究官を迎え入れる等、業界の実情をも踏まえた現実的で実効のある規制制度の制定に向けた努力を続けています。
- また、経済産業省の要請で、毎年環境省が発表するデーターの業界データー等取りまとめ業務の一翼を担っています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 平成18年10月 欧州DXNs調査団派遣
- ◇ 平成12年第一次ダイオキシン類削減計画策定に関与
- ◇ 平成17年6月第二次年ダイオキシン類削減計画策定に関与
- ◇ 平成24年8月同上計画変更案策定に関与
- ◇ (独)産業技術総合研究所の協力を得て、DXNsの発生メカニズム解明のための研究に取り組んでいます。

2. 技術開発に力を入れています

- <ポイント>
- 技術委員会を定期的を開催し、その時々技術的な課題について突っ込んだ意見交換を行っています。
- 日本ダイカスト協会と共同で、新合金の開発と用途の拡大に取り組んでいます。
- JIS規格の策定や海外の規格に対応したMSDSシートの標準化などに取り組んでいます。
- 分析用の標準試料を作製し、頒布しています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 22年度にJIS H 2211:2010 の規格改定。
- ◇ 23年度に標準的MSDS(平成23年度改訂版)を改訂しました。
- ◇ 「アルミニウム合金地金・同二次地金中におけるPBB及びPBDEの含有について(試験報告書含む)」(2012.11.27)を取りまとめました。
- ◇ 26年3月に共同研究の成果書を取りまとめました。
- ◇ 平成26年度に標準資料AD12-Bを作成しました。

3. 3級溶解技能者検定事業を運営しています

- アルミ二次合金業界における我が国唯一の資格認定制度となっている3級溶解技能者検定事業を運営しております。〔隔年事業〕
- 3級溶解技能者検定事業は隔年事業として行っています。
- 受験者の便宜を図るため、各地で講習会を開催しています。
- 受講者向けにテキストを作成しており、技術の進歩に応じて内容も改訂を重ねています。

（平成26年度検定事業）

- 講習会は東京、名古屋、大阪で開催
- 平成26年度の合格者は 60名
- これ迄、延べ1,930名の3級技能者を生み出しています。

4. 事故トラブルなどの情報共有に力を入れています

- 安心・安全対策は企業活動の要です。
- 事故トラブル発生に際しては、会員相互の情報共有に力を入れており、業界の総力を挙げての原因究明と再発防止に取り組んでいます。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 当業界における労働災害事例集を作成しています。
- ◇ 23年5月「放射性物質により汚染された恐れのあるスクラップ材等の取り扱いについて」を取りまとめました。
- ◇ 24年10月～25年3月「マグネシウムスクラップ混入」及び「マグネシウム・リチウム合金スクラップ」に関するトラブルについて注意喚起文書を取りまとめました。
- ◇ 25年6月環境省による放射線汚染に関する調査結果を踏まえ、会員企業に注意喚起文書を発出、会員企業の取り組みについて実態調査。
- ◇ 26年10～11月 東京、名古屋で、第2回労働安全に関する研修会を開催しました。〔前回は22年度開催〕

5. 中小企業対策に取り組んでいます

- 中小企業庁と連携して、中小企業向け各種制度の普及・啓蒙活動を行っています。
- セーフティーネット（緊急報奨制度、雇用調整助成金等）の発動時において、当業界が特定業種に指定されるため、当業界関連データの取りまとめ、報告するなど、役所に対する窓口機関としての任務を担っております。
- 下請代金法関連で個別企業では相談しにくいケースで、協会が企業名を秘匿した上で、中小企業庁に法令の解釈等について見解を求めるなど、会員企業の便宜を図っております。

（最近の取り組み事例）

- リーマンショック後、セーフティーネット制度が当業界に適用されるため、政府への働きかけを行っています。
- 21年度から24年度まで、同制度の更新手続きを毎年行っております。
- 会員企業から、一部の取引において、中小企業にとって過度な負担を強いられると感じている取引慣行が横行しているとの相談があり、中企庁取引課に企業名を秘匿の上、照会、対応のアドバイスを頂きました。

6. 関係機関との連携に力を入れています

- 原料問屋団体、ユーザー業界、ドロス業界など関連業界とのコミュニケーションの維持・強化に力を入れています。
- このため関連協会と定期的に懇談会を開催しております。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 26年7月日本アルミドロス協議会との懇談会を開催
- ◇ 26年8月(一社)日本自動車工業会材料部会との懇談会を開催
- ◇ 26年10月軽金属同友会との懇談会を開催

7. 政府に対して政策提言をしています

- 当業界を所管している経済産業省非鉄金属課とのコミュニケーションを重視しています。
- このため、非鉄金属課長と定期的に懇談会を開催しています。
- 必要に応じて非鉄金属課を通じて、国に政策提言しています。
- また、国が主催する各種会合に業界を代表して出席し、この場で得られた情報を会員向けに提供しています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 22年1月競争法コンプライアンス体制に関する説明会に参加
- ◇ 23年4月原発事故に伴う夏の節電対策説明会に参加
- ◇ 23年11月非鉄金属課長との懇談会を開催
- ◇ 平成25年度の税制改正に際し、①グリーン投資減税の延長等に関する要望書を提出
- ◇ 26年7月に軽金属4団体と共同でエネルギー価格高騰対策に関する要望書を提出。

8. 各種統計調査に力を入れています

- 企業経営にとって、信頼のおける情報に裏打ちされたホットな産業動向を把握することは極めて重要です。
- このため当協会では、会員会社、関係機関等の協力を得て、各種調査を行い、原則として月毎に統計資料としてとりまとめています。
- また毎年、アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金（一次合金）に関する需要見通しを策定しています。
- これら情報は、当協会ホームページ上で発表するとともに、会員会社、プレス、関係機関に情報提供を行っています。

（統計調査の概要）

- ◇ アルミニウム二次合金地金・同二次地金の生産、出荷及び原料消費等
- ◇ アルミニウム地金、アルミニウム合金地金、アルミニウムくず及び金属珪素輸入通関実績
- ◇ 国内アルミニウム二次合金地金・同二次地金及び鋳物・ダイカスト用アルミニウム合金地金（一次合金）需要
- ◇ その他当業界に関連のある統計資料

9. 会員交流の場を提供しています

- 会員どうしの相互理解と、親睦のため、交流の機会を数多く用意しています
- 優良技能者表彰、労働安全優良事業所表彰などの顕彰事業を行っています。
- また、非鉄金属関係団体とも交流し、共同事業を行っています。

(最近の取り組み事例)

- ◇ 総会後の懇親パーティーを開催
- ◇ 賀詞交歓会を毎年東京、大阪で開催
- ◇ 春(関西)、秋(関東)の年2回会員懇親ゴルフ会を開催
- ◇ 非鉄金属7団体で作る「非鉄金属ネットワーク協議会(ネット7)」の活動に参加